学校運営協議会 実施報告書

寝屋川市立第十中学校
 校長 宇佐美和恵
 寝屋川市立三井小学校
 校長 田伐美佐恵
 寝屋川市立宇谷小学校
 校長 北條 幸子

1. コミュニティ・スクールとしての成果と課題（中学校区としての取組）

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営については、十中・三井小・宇谷小ともそれぞれの経営についての基本方針をしっかりと決め、それに基づいて確実に進められている。 ・安心安全に向けた管理がされている。 ・校区各学校目標の「心を育てる」がとても活きている。自分の良さに気づき他者への思いやりも育っていると感じる。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの時に減った学校外の様々な体験を学べる機会を増やしてほしい。 ・これからも地域教育協働協議会とさらに深い連携のもと取り組んでいってほしい。 ・今後も地域との横のつながりを大切にしてほしい。

学校運営協議会 開催回数 ※年度末までの予定を含む（ 4 ）回

2. 学校運営協議会からの意見について（中学校区としての取組）

	学校運営協議会からの意見集約
学校の経営 （生徒指導の方針、人権教育の推進、教育課程の編成等）	<ul style="list-style-type: none"> ・三校がそれぞれの研修を実施され、連携も取れていていいと思う。 ・三校の先生方がお互いに授業参観する機会を設けていることが有意義に思う。 ・校長先生方の連携が教職員の方々の交流となり、子ども達への還元となり、安心安定した9年間の教育となるのだと思う。 ・学校と保護者と地域の連携をこれからも大切にしていってほしい。
学校組織の運営 （学校運営体制、危機・安全管理、施設管理、事務管理等）	<ul style="list-style-type: none"> ・校内はごみ一つ落ちてなくて、花の手入れも行き届いていて、気持ちいい。 ・校内の掃除がしっかりとされていて古さはあるが清潔感がある。 ・とても素晴らしい教育環境の学校で、子どもの数が減っていくのは残念である。 ・働き方改革という社会の流れでやればやるほど、終わりのない学校現場は、時間のやりくりに変な毎日だと思う。
人の管理・育成 （人材育成、人材活用、教職員の意識改革、服務管理等）	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の残業減もメンタルヘルスの大切なことだと思う。 ・先生たちの研修参加により、時代にあった指導が行われていると感じた。 ・若い先生方が増えて、子育て中の先生も多くなり、あれもこれとも思いながらできないこともあり、それを悩みとして持ち越さず切り替えてほしい。 ・生徒が先生を信頼し、困ったことを話せることはとても大切なことでアンケート結果をみてその数値が高いことはとても良いことだと思う。 ・日々、子どもをよくみていただいていると感じるため、保護者としてとてもありがたく相談もしやすい。 ・先生方の熱意が感じられる。
地域連携・渉外 （保護者・地域等との連携、開かれた学校づくり、学校評価活動等）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校以外の体験を学校で学べる機会が増えていることはいいことだと思う。子ども達にとっては貴重な体験になると考える。 ・学校外の行事もたくさんあり、家族以外の人とのふれあい体験があり良い刺激になっていることが分かった。 ・エンジョイマラソンにも参加してほしい。 ・地域の行事に教職員の参加が少なくなった。昔が懐かしく思い出される。 ・子ども達は地域の宝です。地域は、いつも学校の応援者でありたいと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町で出会っても、丁寧にあいさつしてくれる。「すみません。ありがとうございます。」あいさつがとても良いと思う。校区の自慢である。 ・あいさつ運動が盛んな校区で、これからも是非続けてほしい。 ・将来に希望が持てるような普段からの何気ない会話が今後もたくさんあるといいと思う。